



虹の架け橋



錬共向 校
磨生上 訓

第11号

R7.11.18発行
文責 永田 功臣

いろいろな講演会等に参加して

14日(金)には2学期の授業参観を開催しましたが、多数参加いただきありがとうございました。併せて、PTA教育講演会を家庭部の方で実施していただきました。お子様の学校の様子と合わせて、家庭での過ごし方やスマホの使い方について、あるいはお子様の進路について等、家族で考えるいい機会になったのではないかと思います。



その他、11日(火)には町P連・学校保健会合同研修会があり、あいさつと返事、朝食の大切さについて講師の大畑誠也先生からお話を聴く機会がありました。また、12日(水)には、木山中学校区学力向上研究発表会に参加し、ICTを駆使しながら、友達と数学の学習を進める生徒の姿がありました。その中で、木山中学校区全体で、考えたことを自分の言葉で相手に伝えることを大切にされていました。

講演会や研究会、それぞれ視点は違いますが、その中で共通して大切だと感じたのは「人間関係(信頼関係)づくり」です。ICT、スマホ、インターネット等、機器や情報化の急速な発達により、直接、人と人とが触れ合う機会が少なくなり、その関係が希薄になってきています。安心・安全な生活、学校や家庭の活性化、学力向上等、どの場面でも人間関係が鍵です。社会の変化に適応していくことも大切ですが、もう一度原点に立ち返って、「あいさつ」「対話」「表情」を大切にしていこうと考えた次第です。

もう一つ、学力の定着についても、五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)をたくさん使って学んだ方がよいとの話を聴くことができました。本校でも、デジタル教科書を始め、ICTを活用した学習を進めており、デジタルコンテンツなどの視覚教材を見たり、タイピングしてパソコン上に記録することが多くなってきましたが、従来の「ノートに書く」「体験する」ことも大事であることを再確認しました。温故知新(故きを温ねて新しきを知る)の考え方で、以前から大切にしてきたことを見つめ直したいと思います。

生徒会役員改選

授業参観時、廊下に張られている生徒会役員選挙のポスターを見られて、保護者から「本格的ですね」との言葉をいただきました。今年度は、実写版のポスターとなっています。役員選挙にしても、何かが違うような気がします。

本日、立会演説会を行い、その後投票しています。結果については、明日の給食時に放送で行われます。結果がどうであれ、立候補して「こ



んな学校にしたい」といってくれた子どもたちの「行動力」に敬意を表します。また、その考えは今後の学校づくりに生かしていきたいと思っています。

また、引っ張ってくれた生徒会役員にも感謝します。現生徒会は「想造～知り合い・つながり・高め合う」のスローガンをしっかりと体現し、特に縦割り班活動やボランティア活動に力を入れ、矢部中学校に新しい風を起こしました。そんな先輩たちの姿を見て、そのリーダー性を引き継ぎながら、新しい部分も取り入れて、次期生徒会が頑張ってくれることを期待します。

矢部中生の最近の活躍

○町青少年健全育成 生活作文

金賞 1年 佐野 綾菜 さん

金賞 2年 北島 葉奈 さん

金賞 3年 橋本 優姫奈 さん

○上益城郡会長杯新人戦 女子バスケットボール

矢部・甲佐合同チーム 準優勝

○税についての作品(習字の部)

上益城地区租税教育推進協議会 会長賞

1年 松本 純 さん

○人権フェスタ作文発表 3年 本田 優愛 さん

○熊本リレーマラソン20km学生部門

優勝 YABE UNITED(陸上部有志) ※熊日に掲載

○町人権作文入選 1年 児玉彩恋さん 12/4放送

2年 児玉綴さん 12/5放送